

事業所名 みんなtoさんぽ 放課後等デイサービス

支援プログラム

作成日

令和8 年

3 月

31 日

法人（事業所）理念	日常生活の中で、子どもたちの特性を尊重しながら、個々の成長を願って、安心・充実した、気持ちの良い生活を送ることができるよう応援していきます。				
支援方針	子ども一人ひとりの特性や子どもを取り巻く環境を考慮し、ストレングスを生かした個別支援計画を作成し、療育を行います。 また、集団生活における習慣づくり、コミュニケーション力の向上等の、心身の発達を促すとともに、季節感を取り入れた特色ある活動を提供し、楽しく充実して過ごすことができるよう支援していきます。				
営業時間	10 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無 (あり) なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の検温と体調確認を行い、一人ひとりの健康状態や怪我の有無についてきめ細やかに観察をおこない、児童からのサインを見逃さないようかかります。 ・楽しく食事ができるよう、雰囲気と環境作りに配慮し、個々に応じた食事介助と適切な水分補給の声掛け等をおこないます。 ・荷物や衣服の整理整頓がしやすいよう個別のかごを提示します。また、衣服の着脱や調整、手洗いなどの衛生面での自立へ向けて支援します。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の体力、運動能力、姿勢保持、感覚特性に合わせて安全に楽しく運動ができるよう環境を整えながら、粗大運動や微細運動や音楽遊びを取り入れた活動をおこないます。 ・調理活動や工作活動を通して、道具の持ち方や使い方を楽しく習得できるよう支援をおこないます。 ・公園への外出や運動活動をおこない、楽しく身体を動かしながら気持ちの発散をはかれるようかかります。 ・感覚の過敏や鈍麻などの特性を理解し、安心して過ごせるように安心グッズを用意するなどして環境調整をおこないます。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの認知の仕方や発達段階に合わせて、情報提供をおこない、必要に応じて代替案を用意してかかります。 ・当日の日付、曜日、活動の流れ、送迎担当などをホワイトボードで提示し、日常生活や活動の中で手がかりとして活用できるようかかり、こだわり行動に対して支援します。 ・タイマーや音楽などを使い、活動の終わりを理解し気持ちの切り替えができるような工夫をおこないます。 ・認知の偏りやコミュニケーション困難から生ずる行動障害の予防として、刺激の少ないスペースを確保し個別に支援します。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや好きなこと、おやつなどの活動を通して、要求や手伝ってほしい時に、言葉・指差し・身振り・ジェスチャーなどで自分の思いを発信する方法を取得できるよう支援します。 ・一緒に絵本を読んだり、絵カードや写真などを使って、言葉の習得や意味の理解に結びつくようかかります。 ・活動の手順を説明する際は、言葉だけの指示だけではなく、手順書や映像を見せるなどして伝わりやすい方法を工夫しています。 ・一日の終わりに、楽しかったことを発表する場面を提供し、話す力や聞く力が身につくようサポートします。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼できる職員存在を介して、周囲の人に興味関心を持ち、安定した関係が作れるよう、安全基地となり人間関係が広がるよう支援します。 ・ひとり遊びや並行遊びを見守り、まわりの模倣を楽しみながらできる活動や遊びを提供しつつ、職員が介入しての共同遊びや小集団活動などハスモールステップで進めていきます。 ・小集団での遊びや活動の中で、周囲の人との距離感や力加減、好ましい行動は何かを理解し社会性が身につくようかかります。 ・地域施設の利用や外出活動の際のルールやマナーについて学び、意識できるよう支援します。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の意向や希望を尊重し、家庭状況の把握と情緒面のケア、就労状況に応じて延長支援や送迎、受け入れ時間の調整などをおこないます。 ・きょうだい児と一緒に迎えの際、施設内スペースで遊べるよう提供します。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて入学前の施設や卒業後の施設等と情報共有をおこないます ・卒業の際に次のステージに向けての不安軽減になるよう、本人の意思を確認したり、本人が計画しての個別支援の機会を設けています。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関連施設が参加しているネットワーク等を通して、情報共有や講習への参加 ・大学や社会福祉協議会主催のイベントに参加 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議による課題の整理、共通理解と支援の方向性の共有 ・虐待防止研修、権利擁護研修の実施 ・強度行動障害研修や勉強会への参加した際の職員間での情報共有 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・お花見・季節に合わせた制作活動・誕生会・ハロウィン・クリスマス・節分・ひなまつり・卒業を祝う会 				